

よりそ



縁の始まり

岡山県倉敷からのボランティアバスツアーは昨年4月より20回目になりました。

バスをきっかけにマイカーでの参加者もいます。

その中の人の話で、ボランティア活動により現地の方の御自宅に宿泊するまでの関係になり、「親せきが増えたような感じがある」とまで言ってもらえた事を聞き、なんと素敵!と思いました。

私達は10ヶ月ぶりに来させて頂きましたが、前回よりも皆さんの多くの笑顔に元気付けられました。

どこに行っても「ありがとう!」と言われ、まごころネットの方々のおかげだと思いました。

現地の方とボランティアどうしの縁が始まり、「始縁」となりほすよう頑張りたいと思っています。(チーム倉敷)

ソフトなハード活動

2月と3月に大槌の被災地で瓦礫撤去のボランティア活動をしました。全くなにもなくなった家の土台を見ていると時々ふと、いずれこの同じ土地には家を再築する事はおそらく出来ないのだから一体私たちのこの行為に意味があるのだろうかと思ったりもしました。ところがある日、しばれるように寒い中スコップを使って瓦礫を片付けていると、その家の所有主の方が見えて食べ物や飲み物を持って来て下さいました。

小さな子供を連れなお母さんが家の土台の方へ歩いて行くと、家があった所をみながら「きれいになったね」と言われました。あの瞬間、私は、もしこの瓦礫の撤去が少しでもこの家族のひとたちの安らぎを取り戻すのに役に立つのであればやっぱり価値があるかもと内心思いました。(Jum: 翻訳: ギャロウエイ容子)

原文

In Feb and march, I have been clearing debris at the site of Ootsuchi. looking at the bare house foundations, sometimes I do wonder if this have any meaning since they most likely will not rebuild on the same site. one day, as we were shoveling away in the bitter cold, the family of the house we were clearing came and brought us drinks and food. The mother walked into the foundation with a little child, staring at where her house originally was and said, "きれいになったね。" I thought to myself, if the debris clearing is only to bring a little comfort to their heart, it might be worth it after all. (Jum)

訂正

前号171号のファミリーの記事中、「自己教育」を「self-education」に訂正し封

5/5 (土) 天気 曇り 気温 17℃ 降水確率 10%

5/5(土)ボランティアミーティングはPM5:10~男性居酒屋棟

5/4(金)の宿泊:26名,活動:460人